

平成 30 年度 市整会 前期 理事会・市整会フォーラム 議事録

日時:H30.10.20(土) 18 時～

場所:ANA クラウンホテル大阪 4F 桐の間

大阪市北区堂島浜 1-3-1 TEL:06-6347-1112

出席者(計 16 名)(敬称略)

天野 祐一、馬野 隆信、西澤 徹、前野 岳敏、秋野 一男、金井 秀彰、宮脇 裕二、  
斧出 安弘、柴田 和弥、高山 優、柳井 尚浩、宮内 晃、上野 憲司、桑野 吉浩、小竹 志郎、  
森川献志漢、

委任状(計 34 通)・・・理事会成立(理事 60 名)

報告事項

- 1、会員の動向について(森川)
- 2、平成 30 年度前期事業報告(森川)
- 3、その他の報告事項

協議事項

- 1、平成 30 年度後期事業計画 (森川)
- 2、その他の協議事項

報告事項

- 1、会員の動向について(森川)

死亡退会者の御報告(2 名)

合志 至誠先生(昭和 37 年入局)が、7 月 12 日にご逝去

小寺 力先生(昭和 48 年入局)が、昨年末にご逝去

住所変更(1 名)

玉田善雄先生(昭和 57 年入局)

〒086-1024 北海道標津郡中標津町東 24 条南 5 丁目 1

勤務先:町立中標津(なかしべつ)病院(市立根室病院より変更)

退会希望(1 名)

猪瀬正美先生(昭和 48 年入局)

- 2、平成 30 年度前期事業報告(森川)

H30.04.07(土)諮問委員会

H30.04.12(木)～14日(土)第47回日本脊椎脊髄病学会学術集会(大学行事)

H30.04.21(土)29年度後期理事会・市整会フォーラム(講演会のみ共催:久光製薬)

理事会 17時～、フォーラム 18時～ ヴィアーレ大阪

出席者 20名、委任状 25通(理事総数 61名)

演題「関節外科の進歩～患者満足度向上への取り組み～」座長:明石健一

演者 医療法人啓信会 中之島いわき病院 院長 岩城 啓好先生

H30.05.12(土)市整会 総会 ヴィアーレ大阪 講演会のみ共催:科研製薬

(出席者 39名、委任状 112通、会員 196名…総会成立)

学術講演1「末梢神経損傷に対する人工神経を用いた治療 基礎と臨床」座長:小竹志

郎

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 横井 卓哉先生

学術講演2「最近の大阪における社会保険審査について」座長:増田博

演者 医療法人岩本整形外科 院長 岩本善介先生

H30.06.03(日)スケルトンゴルフコンペ 天野山CC

参加:市整会 24名、勤務医 15名、総勢 39名(10組)

H30.06.16(土)学術講演会 共催:旭化成 南海スイスホテル 16:00～ 総合司会:明石健一

(参加者 市整会 51名 同門 22名 非会員 63名 合計 136名)

学術講演1「整形外科医にもきいてほしい 高脂血症の話」座長:増田博

演者 国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部長 斯波 真理子先生

学術講演2「陥入爪、巻き爪の原因と最新の対処法」座長:小竹志郎

演者 医療法人社団 瑞雲会 高田馬場病院 整形外科 町田英一先生

学術講演3「骨粗鬆症性脊椎疾患:注意すべきポイントと対策」座長:大川 得太郎

演者 秋田大学大学院 医学系研究科医学専攻 機能展開医学系 整形外科学講座  
准教授 宮腰 尚久 先生

H30.09.08(土)市整会学術文化講演会 共催:日本臓器製薬 総合司会:小竹志郎 16時～ 天王寺都ホテル

参加:市整会 32名 家族 3名 同門会 6名 非会員(演者含)6名 合計 47名

学術講演:「がんとロコモティブシンドローム(がんロコモ)のトータルケア

～「入院から在宅へ」のいま、求められる整形外科医の役割とは?～」座長:

西澤徹

演者 大阪国際がんセンター 整形外科 骨軟部腫瘍科副部長 大島 和也先生

文化講演:「古地図で愉しむまち歩き」座長:天野祐一

演者 株式会社 竹中工務店 大阪本店 技術担当顧問 大阪くらしの今昔館ミュージアムボランティア町家衆 酒井祐一先生

H30.09.28(金)諮問委員会

H30.10.13(土)「『これからの整形外科のかたち』を考える会」(健保介護診療担当勉強会)

共催:久光製薬 大阪第一ホテル 午後3時45分から 総合司会:馬野隆信

参加者:32名(演者を含む)

演題1「脊椎画像診断の撮影範囲内で見つかる泌尿器科疾患～特に前立腺癌について～」座長:増田博

演者 杉本泌尿器科 院長 杉本 俊門 先生

演題2「100年生きたらどうします?我々が最期まで役立つために」座長:増田博

演者 こたけ整形外科 院長 小竹志郎先生

演題3「共創の医業承継～新税制から承継の現状～」座長:馬野 隆信

演者 河村会計事務所 河村 好夫 先生

H30.10.20(土)平性30年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催:帝人ファーマ

理事会 18時～、フォーラム 19時～ 情報交換会 20～21:30 ANAクラウン

出席者 16名、委任状 34通(理事総数60名)

演題「大腿骨頭壊死症:最近の話題」—骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折・大腿骨頭軟骨下骨折との鑑別 座長:小竹志郎

演者 和泉市立総合医療センター 整形外科 部長 溝川滋一 先生

### 3、その他の報告事項

1) 市大整形外科70周年記念式典 入金状況(宮内)

添付資料1

今後、80周年記念式典などが催される際には、今回の集金が大変だったことを含め、同門会にお願いするなどの意見があった。尚、今回の貸借対照表は総会の際に報告させていただきます。

2) 今回の理事会・市整会フォーラムより、日整会教育研修認定の単位申請が可能となっております。

3) その他の報告事項をお聞きしたところ、

桑野先生の診療支援を天野会長から、医局長に頼んでいたが、今後のために状況を報告して欲しいとの依頼がありました。(桑野先生の場合 1 週間の診療支援期間であるが、何卒を大学から支援され、何卒を関西労災に依頼したかなどを)。

#### 協議事項

1、平成 30 年度後期事業計画 (森川)

H30.10.28(日)市大整形外科 70 周年記念式典

H30.11.18(日)家族会(京都方面)

豊臣秀吉の側室の淀殿とお江が建てた「養源院」(浅井長政の菩提寺)と三十三間堂観光。

織田信長の甥である織田頼長ゆかりの「左阿彌」での京懐石料理。

H30.12.02(日)市整会ゴルフコンペ 泉が丘 CC 7 組

H30.12.21(金)諮問委員会

[こんび] 20 時～

H31.01.26(土)市整会新年会 場所:ANA クラウンプラザホテル 学術講演共催:エーザイ

総合司会:森川献志漢

学術講演「転移性脊椎腫瘍の診断と治療」座長:増田博

演者 鈴木 亨暢先生

アトラクション:初田悦子さん

H31.03.09(土)市整会学術講演会 共催:小野薬品

場所:ホテルモントレグラスミア大阪 21 階「スノーベリー」総合司会:未定

学術講演1「関節リウマチ患者における転倒・骨折のリスクマネジメント」座長:未定

演者 大阪市立総合医療センター 整形外科 医長 多田 昌弘先生

病院紹介 未定

学術講演2「整形外科医に知ってほしい感染症～インフルエンザを中心に～(仮)」座

長:未定

演者 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 主任部長 橋本 章司先生

H31.04.12 諮問委員会

H31.04.20 H30 度後期理事会・市整会フォーラム(講演会のみ共催:久光製薬)

場所:未定

学術講演「未定」座長:未定

演者 未定

平成 31 年度前期事業計画

H31.05.18 市整会 総会 ヴィアール大阪 講演会のみ共催:科研製薬

場所:未定

学術講演1「未定」座長:未定

演者 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学 大学院生 上山秀樹先生

学術講演2「最近の審査状況について(仮)」座長:未定

演者 (医)有馬外科・整形外科 寺川文彦先生

H31.06.15 学術講演会 共催:旭化成

市整会演題 2題

学術講演1「ラグビーの安全性を高めるため、どのように動いているのか?またそれにかかわる医師の在り方(未定)」座長:未定

演者 愛染橋病院 整形外科部長 中村夫左央先生(予定)

旭化成推薦演者 1題

第1候補:「ロコモ関連、病診連携での骨粗鬆症治療・テリパラチドの使い方」

宮崎大学医学部整形外科 教授 帖佐 悦男先生

または

第2候補:「脊椎・骨折治療、骨粗鬆症薬物治療」

秋田大学医学部整形外科 講師 野坂 光司先生

## 2、その他の協議事項

### 1)定款の変更について

定款 第3章 第4条の所で、市大卒業生でなく他大学より入局されている先生方も多数おられ、同窓会と言う文言では、市大出身者だけのように感じて違和感を覚える為、同門会と言う文言に変更する。

以下、改定文

### 第3章 会員および会費

第4条 大阪市大整形外科教室同門会員開業医、およびこの会の目的に賛同して入会希望する者を会員とする。

#### 2) 医局の70周年記念式典祝賀会市整会だけの記念品について

市整会で取りまとめた寄附金も3200万円を超えました。

記念品は錫製のペアカップが用意されています。

それ以外に、苦勞して寄付をして頂いた会員に市整会だけの記念品を作る予定にさせて頂いております。

ネクタイピンで文言は OSAKA CITY UNV. ORTHOPEDIC SURGERY/70Th ANNIVERSARY /SISEIKAI SUPPORTER

尚、製作費は同門会の許可を得て寄付金からいただくつもりです。

以上のことを協議したところ、ネクタイピンとハットピンの両方を作成することに決まったが、色などの詳細は理事会メールで協議する事となった。

#### 3) 市整会の各種案内や会報などの送付方法について

現状ですと発送は各担当の責任でそれぞれが業者に頼んだり、自力で送ったりしています。

個人情報が出た場合、例えばクリニック住所でなく個人の自宅に送付する時には個人の住所が漏れる場合があります。しかし漏洩した場合どこから漏洩したかがわかりにくく、もし製薬会社などの会社に依頼した場合に、そこから漏洩したと特定できたとして、その会社が個人情報漏洩保険に入っているならばまだ良いですが、保険等に入っていないことも想定しないといけないと思います。

単に保険に入っていれば良いという問題ではないのですが、我々の手で発送すべきとのご意見を頂きました。

その観点で、発送用の住所録、簡単にタグシートに印刷できるものをご検討したいのですが、個人情報の問題と発送の仕事量の問題になりますので、理事会での協議したところ、仕事量の多さと問題対処方法の観点から今後の検討項目となった。その為に、実態調査を行い次回に検討項目とさせて頂きます。

#### 4) その他の協議事項はありませんでした。

H30.10.20(土)平性 30 年度前期理事会・市整会フォーラム 講演会のみ共催: 帝人ファーマ

理事会 18 時～、フォーラム 19 時～ 情報交換会 20～21:30 ANAクラウン

演題「大腿骨頭壊死症: 最近の話題」—骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折・大腿骨頭軟骨下骨折との鑑別 座長: 小竹志郎

演者 和泉市立総合医療センター 整形外科 部長 溝川滋一 先生

### 大腿骨頭壊死症(ONFH): 最近の話題

現状では研究費の実態として医療経済的に緊迫しており、重症度に応じて医療費助成が受けられる等の満たされていない現在の状況報告の後、ステロイド関連・アルコール関連を含め男女差等の疫学を述べて頂き、病態の解明については骨頭内に虚血が生じ発生するという事のみで、今だその原因となった機序などは解明されていないのが現状であるとの事でした。

また、診断においては診断基準において、レントゲン検査(2方向で診断)に関節裂隙の狭小化が認められていない事や臼蓋側に異常がない事等が銘記されていない事を問題点と仰っておられました。

また、保存療法に有効な物は今のところ無く、アレンドロネートで短期で手術の時期を遅らせる事が出来たものの結果的に長期的に解除できた訳ではなく、ビス剤による骨頭圧潰の抑制効果は不明との事でした(但し、テリパラチドはまだ、評価されていない為 今後の課題と位置付けておられました)。また、動物実験レベルでステロイド関連において①3剤併用(プラビックス+リバロ+ユベラ)や、②ラプラゾールの効果についてや、成長因子を用いた再生医療(細胞療法)について講演してくださいました。

また、鑑別診断で、①変形性股関節症②急速破壊型股関節症(X-P で初期に関節裂隙の狭小化に注意)③一過性大腿骨頭萎縮症(X-P で骨頭の輪郭が不鮮明)④大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折(高齢で骨粗鬆症のある患者さんに注意し、MRI で関節軟骨面に近接している事や、関節面に骨頭壊死の様に繋がりが無い事や、手術療法(THA)への回避には、骨折の範囲の大きさと早期免荷できた時期が重要であるので早期発見の重要性)について講演して頂きました。

今回のフォーラムより 日整会の単位申請も可能となり、市整会の先生方が講師をされるといった講演で無くなった等、改良点のあったフォーラムでしたが、日常診療に即した知識の復習や課題などを考えさせて頂けた講演会でありました。

森川献志漢